



2026 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社くろがね工作所
代表者名 代表取締役社長 田中 成典
(コード：7997、東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理本部長 森 吉武
(TEL. 06-6538-1010)

2026 年 11 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026年7月15日に公表いたしました2026年11月期通期（2025年12月1日～2026年11月30日）の業績予想を下記のとおりに修正いたしますのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 2026 年 11 月期通期の業績予想数値の修正（2025 年 12 月 1 日～2026 年 11 月 30 日）

(連結業績)

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,450	70	75	90	53 円 92 銭
今回修正予想 (B)	6,710	△180	△130	120	71 円 89 銭
増 減 額 (B－A)	△740	△250	△205	30	
増 減 率 (%)	△9.9	－	－	33.3	
(参考)前期実績 (2025 年 11 月期)	6,342	△122	△7	403	237 円 75 銭

(個別業績)

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,460	60	80	47 円 93 銭
今回修正予想 (B)	6,720	△170	80	47 円 93 銭
増 減 額 (B－A)	△740	△230	0	
増 減 率 (%)	△9.9	－	0.0	
(参考)前期実績 (2025 年 11 月期)	6,352	△123	286	168 円 96 銭

(2) 修正の理由

2026 年 11 月期の連結業績につきまして、売上高は 67 億 10 百万円（前回発表予想は 74 億 50 百万円）の見込みとなり、当初発表予想と比較しまして売上高が 9.9%減少する見込みとなりました。売上高減少の主な要因は、家具関連部門においては、主力のオフィス関連事業につきましては、働き方改革に対するソリューションセールの拡大により特に首都圏における新規の引き合いは依然として強く、前連結会計年度において納入時期が大幅に遅延した案件についても当連結会計年度内での納入完了の予定であり、売上高は増加しておりますが、板金メーカーとしての強みを活かした特注製品の引き合いについては、物流施設向けの特注品については引き続き堅調に推移しておりますが、ATM 他の筐体関連の特注製品の一部製品について受注、売上高が大きく減少しました。また、建築付帯設備機器部門においては、医療施設向けクリーン機器では、主力の手術室向けクリーン機器空調機が減少したことに加え、工場向け空調機器の生産についても計画比で減少したことにより売上高が減少しました。粗利面では、上記のとおり特注製品及びクリーン機器等の売上高の減少に伴う生産量の減少とともに、医療福祉施設市場向け

の主力商品である懸垂式引戸「アキュドユニット」についても建築資材が軒並み高騰する厳しい事業環境の中で、物件ごとの収益管理を厳格化し、選別受注を行った影響により案件毎の粗利率は改善しましたが、生産量が大きく減少したため工場の稼働率が低下した結果、売上総利益率が低下したこともあり売上総利益が減少しました。その結果、営業損失1億80百万円（前回発表予想は営業利益70百万円）であります。親会社株主に帰属する当期純損失は、本日付「投資有価証券売却益（特別利益）の計上見込みに関するお知らせ」で公表しました投資有価証券の売却に伴う投資有価証券売却益の計上見込み額2億2百万円があり、1億20百万円（前回発表予想は90百万円）となる見込みであります。

尚、2026年1月14日付けで公表いたしました期末配当予想について変更はなく、期末配当額として1株あたり普通配当20円、特別配当20円、合わせて40円の配当を行う予定です。

(注) 上記記載の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上